

V 校内研修計画

1 研究主題・副主題

相手意識のある学び合い

～自分の思いや考えを伝え合い深める子をめざして～

2 主題・副主題設定の理由

本校では、学校教育目標「社会とのつながりの中で学力そして豊かな心とからだを育てる」を受けて研究を進めている。相手意識のある学びを重視し、思考力・判断力・表現力を伸ばす。そして、友達や学校全体、さらに地域や社会に向けて、自分なりの思いや考えをもち分かりやすく伝える子の育成をめざし、研究主題を「相手意識のある学び合い」、副主題を「自分の思いや考えを分かりやすく伝える子をめざして」とし、授業実践を積み重ねてきた。そして昨年度は、重点「児童が分かりやすく伝える手立て」における子供の姿を具体化し、「根拠や筋道を明確に表現する子」「自分の考えを再構築する子」とし、授業改善を行った。昨年度の成果は以下のとおりである。

根拠や筋道を明確に表現させるためには、まず教師が授業構想をしっかりとおき、各教科の特質に応じた見方・考え方をはっきりさせておくことが大切であった。授業では、子供に見方・考え方を働かせて思考・判断・表現させ、根拠の不足があるときは教師が補助発問を行った。そのような学び合いの中で、考えを整理したりまとめ上げたりすることで、分かりやすい説明につながった。そして、全体での学びを個に返す授業後半のアウトプットを設定することは、子供一人ひとりの表現する力を育てる上で、欠くことができないとわかった。

一方、子供一人ひとりのアウトプットの機会を保障することが大切だとわかったが、時間を十分に確保できないことがあり、適切な表現や確実な学びに到達しない授業が見られたことが課題として残った。また、子供一人ひとりの主体的な学びを支援しきれていないという課題にも取り組んでいかなければならない。

これらの成果と課題を受けて昨年度の研究を引き継ぎつつ、今年度は、石川県教育委員会から「いしかわ道徳教育推進事業」道徳教育推進校の指定を受け、道徳教育を中心に据えて研究に取り組む。これまでの道徳科の授業をふり返ると、主題やねらいの設定が不十分でどこを目指しているのか今一つ分からない指導や、読み物教材の登場人物の心情理解に終始する指導となってしまうことがあった。そこで、今年度は、研究主題「相手意識のある学び合い」、副主題「自分の思いや考えを伝え合い深める子をめざして」として、道徳的価値についての理解を基に、自分の思いや考えを伝えるとともに友達の見方や感じ方を知ることで、物事を多面的・多角的に考え、自らの考えを広げたり深めたりする姿を目指す。そのような授業を積み重ねることで、主体的に学習に取り組む態度、よりよい社会を創っていく力の育成につながると考えている。

3 今年度の研究の重点

【重点1】考えをもつための手立て

具体的なゴールの姿の想定し、ねらいをより明確にする

子供にどんな力をつけたいか、どんなゴールの姿を目指すかを明確にすることを大事にしていく。道徳科においては、子供のゴールの姿を子供の言葉で複数想定することで、一人一人が納得解を得られるような授業を目指していきたい。授業構想の段階では、授業構想シートを活用しながら一時間の流れを構想することで、ねらいをより明確にしていく。

問題意識を高めたり、見通しをもたせたりする導入の工夫

具体物や動画、写真や単元のゴールを提示することで子供に問題意識を高めたり、単元や1時間の学習に見通しをもたせたりする。道徳科においては、アンケートの結果を提示や問いかけにより、教材への関心を高めたり、道徳的価値について問題意識を高めたりできるようにする。そうすることで子供が主体的に考えることができるようにしていきたい。

考えを表現しやすく、多様な考えを引き出すための工夫

一人一台端末や思考ツールなどを活用し、多くの子供が考えを表現したり、多様な考えに触れたりできるようにしていく。道徳科においては、心のもものさしや役割演技なども活用していく。多様な考えに触れることで、子供の「聞いてみたい」「伝え合いたい」という意欲につなげていきたい。

【重点2】伝え合い深めるための手立て

ねらいに迫るための発問の工夫

子供のゴールの姿を具体的に想定した上で、その時間のねらいを達成するために必要な発問や問いかけ、思考を深める問い返しを行っていく。道徳科においては、ねらいにせまるための中心発問や深めの発問をよく吟味し、発問を精選することを大切にする。また子供がどのように答えるかを具体的に想定し、その場合の問い返しや切り返しの発問を事前に検討していく。

子供主体の学習方法や交流の工夫

子供がめあてをもち学習方法を選択したり、交流の相手を自己決定したりすることで、子供主体の授業づくりを目指す。道徳科においても、子供が「聞いてみたい」という相手と伝え合う場を設定することで、多様な考えや価値観に触れ、自己の生き方についての考えを深めていけるようにする。

子供の思考を整理した構造的な板書

子供の思考を整理した構造的な板書は、子供が思考を深めるための助けとなる。子供の発言を類型化やキーワード化することで、子供が板書から考えられるようにする。道徳科においては、ねらいに合わせていろいろなパターンを試しながら、子供の思考の助けとなっていたか授業後に教師が振り返ることを大切にしていく。

まとめ、ふり返りの充実

まとめやふり返りを充実に向けて、タイムマネジメントが重要になる。時間をしっかり確保し、子供が自分でその時間の学びをまとめたり、ふり返ったりできるようにする。道徳科では、ふり返りの視点を校内で共有し、その視点をもとに子供が自分自身について考えることで、自分を見つめる時間を大切にしていきたい。

4. 研究の基本方針及び研究組織

- ・授業スタイル「みかわ」の共通理解を図り、学習方法や指導方法を明確にした授業を行う。
- ・研究授業は全員が行い、全体研究授業かブロック研究授業、公開研授業のいずれかを行う。全体研究授業かブロック研究授業では指導主事等を招いて助言を仰ぐ。
- ・教科は道徳とする。級外や特別支援学級では、自分の選んだ教科で行う。
- ・全体研究会の他に、低学年ブロック(1～3年)・高学年ブロック(4～6年)で研究を進める。特別支援学級は所属する学年のブロックに入る。
- ・全体研究授業・公開研究授業は、全体で指導案検討会・授業整理会を行い、会の準備・進行等は学習部で行う。ブロック研究授業は、ブロックごとに事前研・授業整理会を行い、会の準備・進行等はブロックで行う。
- ・全体・ブロック研究授業は、5限もしくは6限に行くことを基本とする。
- ・授業整理会は、授業者の教室で行い、板書は活用できるよう残しておく。
- ・授業後、「授業研だより」に研究の重点と成果をまとめ、配布することで、共通実践を共有し、その後の実践につなげる。

ブロック

- ・低学年ブロック：澤地 竹村 林 買手 坂本 (山本) (谷内)
- ・高学年ブロック：留田 川西 永井 中田 松井 (村上)
- ・特支ブロック：村上 谷内 山本

5. 今年度の研究計画

月	研究内容	授業力向上
4	研究概要説明道徳校内研修会(要請訪問) ・研究内容の共通理解 ・研究授業の計画 ・授業スタイル「みかわ」についての共通理解 低高ブロック会①(研究授業の計画)	横断的カリキュラムの作成 子供の実態把握 学級経営案作成 授業スタイル「みかわ」についての共通理解 見合いっこ週間
5	講師招聘(山田貞二准教授) 模擬授業 道徳アンケート実施①	家庭学習がんばり週間① 研究授業(学校訪問 全員)
6	全体研提案授業(4年・留田) ・指導案の形式の確認 ブロック研授業(2年・林) 道徳公開・保護者アンケート実施(学校公開日)	
7	ブロック研授業(5年・川西)(1年・澤地) 低高ブロック会②(1学期の実践の考察) 道徳公開・保護者アンケート実施(学校公開日)	1学期のふり返りと取り組みの見直し
8	講師招聘 全体研究会② ・1学期の実践の考察 ・2学期の授業づくりの指針の明確化 研究発表会指導案検討	教材研究 学力テストからの考察
9	道徳公開・保護者アンケート実施(学校公開日) (5年・中田)(3年・買手)	

10	研究授業（動画撮影）（3年・坂本） 道徳アンケート実施② 道徳公開・保護者アンケート実施（学校公開日）	家庭学習がんばり週間②
11	道徳公開・保護者アンケート実施（学校公開日） 研究発表会（1年・竹村）（6年・永井）	
12	ブロック研授業 （特1・村上）（特2・谷内）（特3・山本） 低高ブロック会③（2学期の実践の考察） 道徳公開・保護者アンケート実施（学校公開日）	2学期の振り返りと取り組みの見直し
1	道徳アンケート実施③ 研究紀要の作成 ・年間のまとめと研究紀要の作成 ・3学期の授業づくりの指針の明確化	家庭学習がんばり週間③
2	全体研究会③（研究総括） ・成果と課題の共有 道徳公開・保護者アンケート実施（学校公開日）	
3	全体研究会④（次年度の研究）	

級外・特支は、2学期にブロック研を行う。

特支担任は、参観が難しい場合は、事前研と整理会に参加する。

授業スタイル「みかわ」(各教科等)

学習過程		時間	教師のかかわり(手立て)	めざす子供の姿	
構え	授業の準備 チャームスタート	0	<div style="border: 2px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>【重点1】 考えをもつための手立て</p> <p><input type="checkbox"/>ゴールやねらいの明確化</p> <p><input type="checkbox"/>導入の工夫</p> <p><input type="checkbox"/>多様な考えを引き出す工夫</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 具体的なゴールの姿を想定する ねらいを明確にする 	挨拶, 姿勢, 気もちよく
みつけよう	課題をつかむ	5		<ul style="list-style-type: none"> 具体物, 動画, 写真, 資料問いかけなどで問題意識を高めたり, 見通しをもたせたりする 	<ul style="list-style-type: none"> 「あれ!？」や「どうして!？」等疑問 「前に習った〇〇が使える」「できそう」
かんがえよう	自分の考えをもつ	5		<ul style="list-style-type: none"> 1人1台端末, 思考ツールの活用 根拠(叙述・絵・図や表・式・数直線)や既習をもとに考えさせる 	<ul style="list-style-type: none"> 「自分はどんな方法で考えたらいいかな」 「これまでの学習をつかって…」 「他の考えはないかな」
わかのあおう	伝え合い深める	25	<div style="border: 2px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>【重点2】 伝え合い深めるための手立て</p> <p><input type="checkbox"/>発問の工夫</p> <p><input type="checkbox"/>子供主体の学習方法や交流の工夫</p> <p><input type="checkbox"/>構造的な板書</p> <p><input type="checkbox"/>まとめ, 振り返りの充実</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 深めの発問や問い返し, 根拠を明らかにしたり, 比較・分類をさせたりする 交流の相手や方法の選択 思考を整理した構造的な板書 	<ul style="list-style-type: none"> 「そう考えたわけは」 「この意見はどんな考え方かな」 「なるほど」 「誰と誰が同じ考えかな」「違う考えは誰かな」
	適用する まとめる 振り返り	10		<ul style="list-style-type: none"> 学習用語を用いたまとめ よかった友達の考えや学習前とどのように変わったかなどを書かせる 自己決定した学習方法や交流の方法がめたてを達成できたかを振り返る 	<ul style="list-style-type: none"> 「今日のキーワードは…」 「学習する前は…, 学習した後は, …」 「違う考えの人と話し合って, …」

授業スタイル「みかわ」(道徳)

学習過程		時間	教師のかかわり(手立て)		めざす子供の姿
構え	授業の準備 チャームスタート	0	<div style="border: 2px solid orange; padding: 5px;"> <p>【重点1】 考えをもつための手立て</p> <p><input type="checkbox"/>ゴールやねらいの明確化</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 具体的なゴールの姿を想定する ねらいを明確にする 	挨拶, 姿勢, 気もちよく
みとおしをもつ	問題意識をもつ	5		<div style="border: 2px solid orange; padding: 5px;"> <p><input type="checkbox"/>導入の工夫</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> アンケート, 具体物, 動画, 写真, 資料問いかけなどを通して, 教材への関心を高めたり, 問題意識が高めたりする。
つたえあい, 自分を見つめよう	教材を読んで話し合う	20	<div style="border: 2px solid orange; padding: 5px;"> <p><input type="checkbox"/>多様な考えを引き出す工夫</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 1人1台端末, 思考ツール, 役割演技の活用し多様な考えに触れられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「そう考えたわけは」 「もし, 自分が○○だったら」
	自分を見つめる	15	<div style="border: 2px solid orange; padding: 5px;"> <p>【重点2】 伝え合い深めるための手立て</p> <p><input type="checkbox"/>発問の工夫</p> <p><input type="checkbox"/>子供主体の学習方法や交流の工夫</p> <p><input type="checkbox"/>構造的な板書</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ねらいにせまる中心発問, 深めの発問や問い返し 交流の相手や方法の選択 体験をもとに話したり, 友達の考えと比較しながら聞いたりする 思考を整理した構造的な板書 	<ul style="list-style-type: none"> 「そう考えたわけは」 「この意見はどんな考え方かな」 「なるほど」 「誰と誰が同じ考えかな」「違う考えは誰かな」
	思いをあたためる	5	<div style="border: 2px solid orange; padding: 5px;"> <p><input type="checkbox"/>まとめ, ふり返りの充実</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 4つ視点をもとにしたふり返り 教師の説話 絵本や詩の読み聞かせ 画像, 動画の視聴 	<ul style="list-style-type: none"> 「学習する前は…, 学習した後は, …」 「今日の学習で学んだことは」 「○○さんの意見を聞いて思ったことは」 「これからは大切にしたいのは…」

6. 研究の構想図

